

平成18年度

事業計画書

老人福祉センター—横浜市翠風荘

栄区区民利用施設協会

1 老人福祉センターの管理運営の基本方針

栄区区民利用施設協会は平成7年4月1日に設立し、現在、地区センター2館、コミュニティハウス4館(1館休館中)、こどもログハウス1館の7館の施設の管理運営を、職員65人で実施しております。

この間、地域に密着した運営を図り、年々利用者の拡大に努めてまいりました。

老人福祉センターの実績はありませんが、老人福祉センターは、「地区センターの高齢者版」と理解していますので、管理運営の知識・技術は十分備わっているものと考えております。

管理運営の基本方針は、次の5点であります。

- 1 高齢者のだれもが、気軽に利用することができる施設「また、利用したくなる施設」を、目指す。
- 2 趣味の教室等を通して、高齢者の相互交流を深めるなど、高齢者の生きがい高める。
- 3 区民ニーズに応え、公共的かつ公平性を担保するとともに、利用者サービスの向上に努める。
- 4 行政サービス等への協力を図る。
- 5 施設管理・会計経理等、当施設協会が一体的に行うことで、経費を節減するとともに、管理費の縮減を図る。

2 区の特徴・区政運営方針等の理解と運営方針への反映について

栄区は、昭和61年11月に戸塚区から分区し誕生してから、19年目となる比較的新しい区であります。

区の東部は、瀬上市民の森があり、南東部には、横浜自然観察の森やゴルフ場がある緑の多い地域であります。

区内に唯一あるJR本郷台駅周辺は、地形が比較的平地で、昭和30～50年代にかけて大規模なマンションや戸建住宅が建てられた市街地となっており、区役所、警察署、消防署、図書館、高校、病院等、公共的施設が集中する区を中心となっています。

そして、区を中心を東西にいたち川が流れており、散歩コースなども整備され、区民の手軽な散策の場として親しまれております。

このように、栄区は、豊かな緑と水辺に恵まれ、親しみやすい区といえます。

また、栄区は、18区の中で面積は15番目に位置し、人口は西区に次いで2番目に少ない区であります。福祉・清掃等ボランティア活動が活発であるとともに、安全・快適なまちづくりを推進するために、防災対策及び防犯対策の充実に力を注いでいることが特徴です。

近年、急激に少子・高齢化が進み、小・中学校の再編統合問題が検討される反面、65歳以上の人口は17.5%と増加傾向にあるため、「高齢者の生きがいの場づくり」が重要なテーマであります。

このような状況を踏まえて、高齢者が「趣味の教室」等を通して、だれでも気軽に利用でき相互交流を深めることにより、高齢者の生きがいを高めることができる、施設運営を図ってまいります。

3 地域の高齢者のニーズと運営方針への反映について

栄区区民利用施設協会は、現在、地区センター及びコミュニティハウス等の管理運営を通して、地域の方々と密接な係わりを持っております。

特に、シニアクラブ連合会とは三世代交流事業を各地区センターで毎年開催するにあたり、事業の企画・開催について協力を頂きながら、連携を蜜にしております。

また、当施設協会の会長代行が、栄区シニアクラブ連合会会長でもありますので、意見交換・情報交換等も常に行っており、高齢者のニーズを把握し易い状況にあります。

さらに、現在、管理運営しています2地区センター及び3コミュニティハウスにおける自主事業についても、当然、高齢者向け事業も多く実施しております。

そして、自主事業受講者から「アンケート」を頂くとともに、「利用者の声」の箱も設置いたしますので、高齢者のニーズを把握し、運営に反映させることは十分可能と考えております。

4 すべての利用者への公平なサービス提供に対する考え方

横浜市の公共施設として、だれもが、楽しく、気持ちよく利用できるよう、公平・公正に管理運営することを基本としてまいります。そのためには、職員の研修を積極的に実施いたします。

利用者に「挨拶」と「笑顔」をもって接し、明るい雰囲気のある翠風荘にいたします。

また、老人福祉センターが高齢者の活動と交流の場であることを意識して、だれでも気軽に利用でき、「高齢者のいこいの場」として、相互交流が図られるよう、広く利用を促してまいります。

具体的には、趣味の教室等の広報手段として、地元の「タウンテレビ南横浜」と協力体制を取り、広く参加を呼びかけるとともに、老人福祉センターのPRも積極的に行うことにより、利用者の拡大を図ってまいります。

5 高齢者福祉活動の実績

高齢者福祉活動の実績は特にありませんが、栄区区民利用施設協会は、現在、地区センター2館及びコミュニティハウス3館等の管理運営を行っております。

これらの施設において平成16年度は、88の「自主事業」を実施いたしました。

この自主事業の受講者は一般区民ですが、およそ4割程度は高齢者であり、各施設の利用者の約2割程度が高齢者であります。

このような状況ですので、広く解釈すれば高齢者福祉活動に含まれるものと考えております。

平成16年度の施設全体の利用実績は、338,091人となっており、各館の利用実績は次のとおりです。

平成16年度実績

施設名	延べ利用者人数	自主事業数	参加延べ数
本郷地区センター	118,233	28	3,891
豊田地区センター	123,032	34	5,835
矢沢小学校コミュニティハウス	12,841	6	838
犬山小コミハ(矢沢小代替)	3,704		
本郷小学校コミュニティハウス	18,226	9	1,039
庄戸中学校コミュニティハウス	14,223	4	821
桂山公園こどもハウス	47,832	7	6,782

6 職員の採用・配置計画

○ 職員の採用

- ・ 当該施設の円滑な運営を図るために、生涯学習や地域活動等に意欲のある人材を採用します。
- ・ 常勤職員は広く人材を求めるため、一般公募とするほか、所長については横浜市の管理職経験者で、老人福祉センターの運営に意欲のある方も含め検討し採用したい。
- ・ 時間給職員は地域性を考慮して区内在住者を一般公募により採用します。また、多くの地域の方々に老人福祉センターの理解者を増やす意味からも、勤務年限は3～5年としていきます。

○ 職員の配置

- ・ 常勤職員（所長1名・指導員2名）を配置
- ・ 常勤職員3人による、2交代ローテーション勤務とし、必ず2名が在館し、トラブル等の対応がとれる体制とします。
- ・ コミュニティストッフ（9時～13時 5名、13時～17時 5名）は、隔月勤務とし20名配置することにより、急病・休暇の対応も速やかに取れる体制とします。

7 職員の研修計画

- 多様化するニーズに適切に対応するためには、職員一人ひとりの能力向上は勿論のこと、利用者サービスに徹することが求められております。
- ・ 新採用した職員を対象に、業務内容・接遇・危機管理等の研修実施
- ・ 全職員に対し、年2～3回、接遇・人権・救命等の研修実施
- ・ 所長については毎月開催する館長会議の中で研修を行うとともに、関係団体が開催する研修にも随時参加させることで専門知識の確保に努めていきます。

8 個人情報の取扱について

「横浜市個人情報の保護に関する条例」及び平成17年4月1日から施行された「個人情報保護法」に基づき、適正に対処します。

特に、募集要項の中で示された、個人情報特記事項につきましても厳しく守っていきます。

老人福祉センター利用者の個人情報の収集は必要最小限度にとどめ、二次使用は一切行わず、団体が登録を取り消した場合はその段階で情報は廃棄し、適正に行います。

○ 主な留意点としては、次の6点です。

- ① 利用目的を特定し、その範囲を逸脱しない
- ② 不正な手段で取得しない
- ③ 本人への利用目的通知
- ④ 漏洩などの防止措置
- ⑤ 同意なしに第三者へ情報提供しない
- ⑥ 本人からの開示・訂正の請求に応じる

こうした考え方を全職員に徹底いたします。

9 苦情受付体制について

- 所長・指導員のうち、2名を必ず配置することにより、いつでも苦情の受付及び対応ができる体制をとります。
- 館内に、「利用者の声」箱を設置することにより、だれでも、気軽に、意見・苦情を言える場を確保します。
- 苦情処理については、原則として所長が対応しますが、困難な問題や経費を伴う問題等については、栄区区民利用施設協会で対処します。
ただし、問題が、横浜市に関する場合等は、区役所と調整を図り解決を図ってまいります。

10 防犯、防災、緊急時の対応について

○ 防犯対策

- ・防犯対策マニュアルを作成し、緊急時の対応の仕方を全職員に徹底し、適宜研修を実施することにより自覚を促します。
- ・近隣交番との連携を日常的に行うことにより、緊急時の対応に備えるとともに、盗難等があった場合は速やかに通報します。
- ・夜間の警備等、警備会社と契約し万全を期します。
- ・施設賠償責任保険に加入します。

○ 防災対策

- ・所長が防火管理者の資格を取得します。
- ・防災計画、消防計画を作成し、年1回の防災訓練を実施します。
- ・風水害等の対応については、テレビ等の情報を的確に把握し、利用者の安全を第一に考え、区役所と調整を図りながら対応します。
- ・災害時の連絡体制を整備し、所長の適切な判断により対処します。

○ 緊急時の対応

職員の緊急連絡網を整備し、緊急時の即応体制を図るとともに、当施設協会・区役所との連絡体制も明確にします。

また、警察署・消防署・病院等とも日頃から連絡を密にして、連携が保てるようにします。

1 1 情報提供について

「翠風荘」において、実施する自主事業及び施設内容等については、高齢者はもとより広く区民・市民に情報提供いたします。

具体的には、まず、栄区のホームページ及び広報さかえを活用させて頂きたいと考えております。

その他、翠風荘独自の「広報チラシ」も発行します。

さらに、栄区区民利用施設協会が管理運営しております、地区センター・コミュニティハウス・桂山公園こどもログハウスのほか、生涯学習支援センター、社会福祉協議会、タウンテレビ南横浜等を通して、広く情報提供をいたしたいと考えております。

1 2 健康づくりや介護予防への取組について

健康で、楽しく、一人で、老人福祉センターへ通って来られる高齢者は、幸福な方々です。

このような方々が、いつまでも、明るく、生活できますように願っております。

機会があれば、栄区役所サービス課高齢者支援担当にご協力頂き、介護予防について、年に1～2回程度取り組んでいきたいと考えております。

1 3 高齢者に対する健康相談、生活相談、助言等の方法について

健康で、楽しく、一人で、老人福祉センターへ通って来られる高齢者は、幸福な方々です。

このような方々が、いつまでも、明るく、生活できますように願っております。

そのためには、職員がたえず声をかけることなどにより、いつまでも、お元気で過ごせることのお手伝いをいたします。

なお、利用者が極端に減っている、医師による健康相談事業は、経費削減のために、平成18年度は実施しません。

1 4 高齢者の仲間づくりを推進するための配慮について

高齢者は、とかく、ひとりになりがちでありますので、老人福祉センターにひとりでも多くの方々に、足を運んで頂くべく、翠風荘のPRを幅広く展開いたします。

そのためには、まず、栄区区民利用施設協会の会長代行が栄区シニアクラブ連合会会長でもありますので、密接な関係のある栄区シニアクラブ連合会に協力願い、あらゆる機会を通して利用促進を図ると共に、利用者との接点を捉えて、仲間づくりを推進してまいります。

また、趣味の教室や文化祭等の事業開催に向けて、事業PRも兼ねて、区役所の広報さかえやタウンテレビ南横浜等により、翠風荘を広くPRし、利用者増及び仲間づくりを図ってまいります。

1 5 趣味の教室の基本的な考え方

趣味の教室の実施にあたっては、地域のニーズ及び高齢者のニーズを十分把握するとともに、多くの方々が参加できるような事業を展開します。

また、趣味の教室を通して、引きこもりがちな高齢者に老人福祉センターに足を運んで頂き、相互交流を深めることにより、高齢者の生きがいを高めることを目指してまいります。

さらに、幅広く、多くの趣味に参加することにより、新たな仲間もでき、明るく、健康で、豊かな老後を過ごせることが期待できるものと考えております。

本年度は、初めてですので、18区の事業内容を参考にしながら、皆様に喜ばれそうなものを企画いたしました。

具体的には、「健康づくり事業」、「海外向け事業」、「歴史散歩」等を計画しました。

来年度は、趣味の教室受講者からのアンケートや、「利用者の声」箱等により、十分ニーズを把握して楽しいものを企画いたします。

1 6 趣味の教室以外の自主事業の基本的な考え方

趣味の教室から育った同好会が、現在20～30団体程存在しているとのことですので、日頃から精進しているサークルの方々に、一年に1回発表の機会を設けた「文化祭」を開催します。

この文化祭を開催することにより、サークル相互の交流・親睦が深まり、横の連絡も密になり、明るく、和やかな老人福祉センターの運営が図られるものと考えております。

また、今年度は、一つの試みとして、サークルだけの発表会だけでなく、味付けとして、「アルパ、コンサート」(予定)等も盛り込んだものを計画いたしました。

1.7 経費節減のための取組について

- 施設管理・会計経理等を、栄区区民利用施設協会が一体的に行うことで、経費を節減するとともに管理費の縮減を図ります。
- 施設を安定的に管理するために、永年、培った経験により、廉価で、堅実な施設管理業者と業務提携することにより、利用しやすい施設サービスを図ります。
- 自動販売機を設置することにより自主財源を確保します。

老人福祉センター横浜市翠風荘平成18年度自主事業計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
区内の歴史散歩 通年	60歳以上	124,000	124,000	0	96,000	0	28,000
	25						
	0						
陶芸 初級 前期	60歳以上	246,000	201,000	45,000	148,000	50,500	47,500
	15						
	3,000						
悪質商法の被害に 遭わないために 前期	60歳以上	3,000	3,000	0	0	0	3,000
	50						
	0						
イタリア講座 前期	60歳以上	84,000	44,000	40,000	36,000	42,000	6,000
	20						
	2,000						
カラオケ 発声方法からもう一度 前期	60歳以上	86,000	86,000	0	72,000	2,000	12,000
	15						
	0						
笑いと感動の楽しい マジック教室 後期	60歳以上	100,000	85,000	15,000	72,000	16,000	12,000
	15						
	1,000						
色鉛筆で手作り年賀状 後期	60歳以上	84,000	81,000	3,000	72,000	4,000	8,000
	15						
	200						
お正月飾りを作ろう 後期	61歳以上	56,000	26,000	30,000	18,000	34,000	4,000
	15						
	2,000						
文化祭 後期	60歳以上	250,000	250,000	0	100,000		150,000
	100						
	0						
		1,033,000	900,000	133,000	614,000	148,500	270,500

老人福祉センター横浜市翠風荘平成18年度自主事業別計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
区内の歴史散歩	<p>目的 区内の史跡等を巡りながら現在の地域の背景を知る。</p> <p>内容 地域史研究グループに講師を依頼し、テーマに沿ったコースを組み、当日はそれぞれの説明を聞きながら巡る。</p>	<p>実施時期 通年</p> <p>回数 8回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
陶芸 初級	<p>目的 土という自然のものに手を触れて、ゆったりとした時間の中で「和」を楽しむ。</p> <p>内容 湯飲みや平皿など、初心者が作りやすい形の作品を作る。</p>	<p>実施時期 前期</p> <p>回数 12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
悪質商法の被害に遭わないために	<p>目的 年々、巧妙になる悪質商法に騙されない知識を身につける。</p> <p>内容 最近多い商法の実例をあげ、騙されない知識を身につける。また、クーリングオフなど契約後の対処の仕方についても学ぶ。</p>	<p>実施時期 前期</p> <p>回数 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
イタリア講座	<p>目的 世界遺産の宝庫であるイタリアの食文化や簡単なイタリア語を学び、知識を広める。</p> <p>内容 国際交流に係る講師に依頼し、魅力あるイタリアをいろいろな観点から紹介してもらう。</p>	<p>実施時期 前期</p> <p>回数 6回</p>

老人福祉センター横浜市翠風荘平成18年度自主事業別計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カラオケ 発声方法 からもう一度	<p>目的 皆で大きな声を出し楽しく歌うことで、心も身体もリフレッシュして、健康維持に役立てる。</p> <p>内容 講師のピアノに合わせて、発声練習から始め、お腹から思い切り声を出すトレーニングをし、皆で楽しく歌う。</p>	<p>実施時期 前期</p> <p>回数 12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
笑い感動の楽しい マジック教室	<p>目的 簡単なマジックを覚え、家族や友達との楽しいコミュニケーションに役立てる。</p> <p>内容 カードやコイン・ハンカチなど身近なもので、簡単なマジックを覚える。</p>	<p>実施時期 後期</p> <p>回数 12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
色鉛筆で手作り 年賀状	<p>目的 豊富な色と重ね書きが自由に楽しめる色鉛筆で、素直な表現力を身につける。</p> <p>内容 パソコンでは出せない色彩で、自分の好きな色を使い、新年の挨拶状を書く。</p>	<p>実施時期 後期</p> <p>回数 8回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お正月飾りを作ろう	<p>目的 飾りを作りながら、地域交流の機会を持つ。</p> <p>内容 飾りの由来の話を交えながら、お正月飾りを作る。</p>	<p>実施時期 後期</p> <p>回数 2回</p>

老人福祉センター横浜市翠風荘平成18年度自主事業別計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
文化祭	<p>目的 各趣味の教室での日頃の練習成果の発表。</p> <p>内容 各趣味の教室の発表会・展示会・卓球大会・囲碁大会を行い日頃の練習成果の発表と心癒すアルパコンサートを行う。 コンサートでは楽器アルパと中南米諸国の紹介も行う。</p>	<p>実施時期 後期</p> <p>回数 1回</p>

平成18年度

収 支 予 算 書

老人福祉センター—横浜市翠風荘

栄区区民利用施設協会

老人福祉センター横浜市翠風荘平成18年度収支予算書

勘定科目	館名	18年度予算
人件費		23,554,000
給与		10,008,000
社会保険料		1,511,000
健康保険料		498,000
厚生年金保険料		751,000
児童手当拠出金		10,000
雇用保険料		121,000
労災保険料		131,000
コミスタ賃金		10,786,000
退職員積立金		0
通勤手当		1,177,000
健康診断費		54,000
勤労者福祉共済掛金		18,000
事務費		2,915,000
旅費		36,000
消耗品費		1,188,000
会議陪費		200,000
印刷製本費		70,000
通信費		500,000
使用料及び賃借料		168,000
備品購入費		150,000
施設賠償責任保険		33,000
職員等研修費		30,000
振込手数料		188,000
リース料		272,000
会費及び負担金		20,000
印紙代		60,000
事業費		900,000
自主事業費		900,000
管理費		23,688,000
光熱水費		12,638,000
電気料金		2,178,000
ガス料金		97,000
水道料金		10,363,000
清掃費		1,900,000
修繕費		2,500,000
機械警備費		479,000
設備保全費		6,171,000
冷暖房設備保守		5,389,000
消防設備保守		
電気設備保守		
害虫駆除清掃保守		53,000
その他保全費		729,000
共益費		
		51,057,000
事務経費		2,548,000
委託料合計		53,605,000